

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

経営学部のススメ

世界へ、未来へ——。



ビジネスリーダーを目指すあなたの「想い」に応える学部

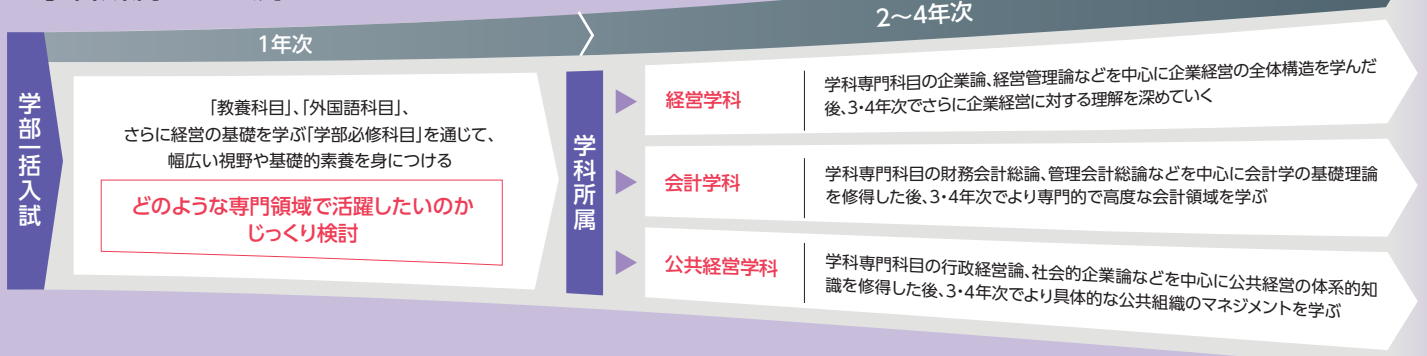
1年次は経営の基礎を幅広く学び、2年次から経営学科、会計学科、公共経営学科の3つに分かれて学びます。

経営学科では主として営利企業のマネジメントについて、会計学科では会計の利害関係者に役立つ会計情報について、公共経営学科では行政組織や非営利組織のマネジメントやスポーツマネジメントについて学びます。

1年次で学んだことを加味して学科を選択することで、自分が興味をもった専門領域を徹底的に学ぶことができます。

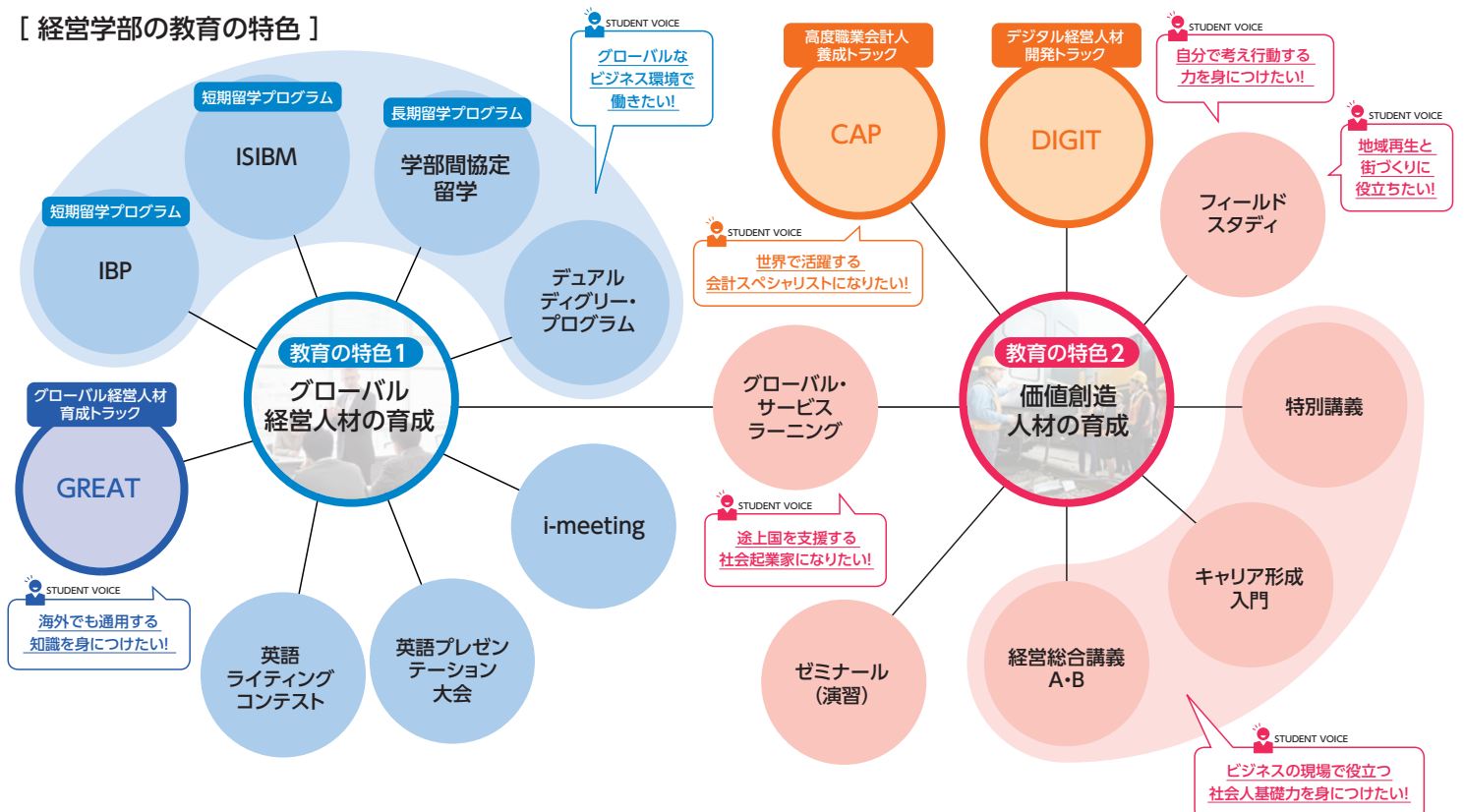
※2年次からの所属学科は本人の希望を優先しますが、希望者が学科定員を超えた場合には、1年次春学期の成績等を考慮して決定することがあります。

学科所属までの流れ



「グローバル経営人材」「価値創造人材」の育成

〔経営学部の教育の特色〕



グローバル経営人材の育成



IBP (International Business Program)

短期留学プログラム

世界への初めの一步！世界への視野を広げるきっかけに！

IBPは、経営学部独自の海外短期留学を行う実習科目で、2002年度から課外の海外語学研修としてスタートし、これまでに750名以上の経営学部生が参加しています。実習先では、英語研修、現地企業訪問、ホームステイなどを通じ日本と異なる社会や文化を体験します。英語の学習だけでなく、相手国の生活や文化、習慣を身近に体験することで国際理解を深めるねらいがあります。

正規の科目として、単位付与(計3単位)しています。生の英語に触れる機会として、また半年や1年といった海外留学を希望する方にはその足がかりとして積極的に参加することを期待しています。

実習先 ▶ **Portland State University**
(アメリカ オレゴン州・ポートランド)
San Jose State University
(アメリカ カリフォルニア州・サンノゼ)

日 程 ▶ ① **IBP A** (夏期) 8・9月(30日前後)
② **IBP B** (春期) 2・3月(30日前後)

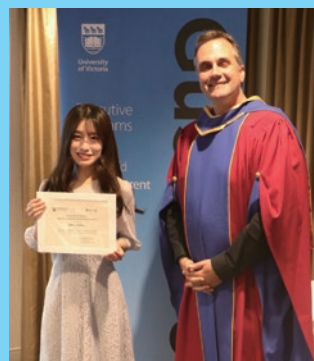
ISIBM (International Summer Institute for Business Management)

短期留学プログラム

カナダで学ぶビジネスマネジメントプログラム

経営学部の協定校ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部(カナダ・ヴィクトリア)にて行われる3週間のビジネスマネジメントプログラムです。経験豊かな教授陣による授業やゲストスピーカーによる講義、企業訪問、パーティー、アクティビティなどが組み込まれています。プログラム修了後、最大6単位まで卒業要件単位として認定されます。参加者の中から条件を満たした学生には補助金が支給されます。(応募者多数の場合は選考あり)

実習先 ▶ **University of Victoria** (カナダ ブリティッシュコロンビア州・ヴィクトリア)
日 程 ▶ 8月(21日間)



学部間協定留学

長期留学プログラム

海外の大学で修得した単位の一部認定も！

明治大学経営学部と交換留学の協定を締結している以下の協定校に、経営学部生が交換留学生として留学するプログラムです(学位取得を目的とした留学ではありません)。半期または通年で留学しても、諸条件を満たせば4年間で卒業することも可能です。学費は本学へ納入する必要はありませんが、留学先の授業料は免除されます。 ※2024年3月現在

- ①7月選考試験：
ソウル国立大学のみ
(翌年の3月から留学開始)
- ②11月選考試験：
ソウル国立大学以外の13大学14学部
(翌年の8月または9月から留学開始)

■ **ヴィクトリア大学** [グスタフソン・ビジネス学部]
(カナダ・ヴィクトリア)

■ **カーディフ大学** [カーディフビジネススクール]
(英国・ウェールズ)

■ **Excelia**
(フランス・ラロシェル)

■ **IPAG ビジネススクール**
(フランス・パリ/ニース)

■ **NEOMA 経営大学院** [NEOMA ビジネススクール]
(フランス・ルーアン/ランス/パリ)

■ **IE 大学**
(スペイン・セゴビア/マドリッド)

■ **ソウル国立大学** [経営学部]
(韓国・ソウル)

■ **対外経済貿易大学** [国際商学院]
(中国・北京)

■ **香港城市大学** [商学院]
(中国・香港特別行政区)

■ **オスナブリュック応用科学大学** [経営管理・社会科学部]
(ドイツ・オスナブリュック)

■ **ロッテルダム応用科学大学** **ロッテルダムビジネススクール**
(オランダ・ロッテルダム)

■ **東フィンランド大学** [社会科学・ビジネス学部]
(フィンランド・ヨエンスー/クオピオ)

■ **シーナカリンウィロート大学** [経済学部] [サステナビリティ研究国際学部]
(タイ・バンコク)

■ **ノースカロライナ大学シャーロット校** **ベルクカレッジ・オブ・ビジネス**
(アメリカ・シャーロット)

Be Active!! ~海外留学単位認定制度~

学生の皆さんに海外留学を強く勧めています。海外の協定校・認定校で正規授業を履修し、単位を修得した場合、留学先での勉強内容および修得した単位数を積極的に認定する海外留学単位認定制度を設けています。

デュアルディグリー・プログラム

日本と海外の学位を両方取得できる、
計5年間のプログラム

明治大学経営学部のデュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2年半、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2年半、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方を取得できるプログラムです。学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、さらに、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部では約1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップに参加します。2017年度からヴィクトリア大学への派遣を開始し、2023年度までに計6名の学生を派遣しました。

有償インターンシップ

有償インターンシップとは、在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムです。ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部に入学後、主に夏休み(2回)と1学期間(1回)の有償インターンシップに参加します。



i-meeting (アイ・ミーティング)

キャンパス内から異文化交流! 留学生の友達を増やそう!

i-meetingは、経営学部が行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めることをねらいとしています。



英語運用能力向上プログラム

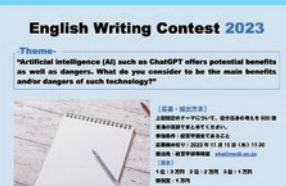
英語プレゼンテーション大会

英語によるプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムで、個人、グループを問わず応募できます。テーマに沿って研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金を授与します。



英語ライティングコンテスト

グローバル社会においては、「話す」英語によるコミュニケーションと同様、「書く」英語によるコミュニケーションも必要です。英語で文章が書けること、自分の考えを英語でまとめ、説得力のある内容を発信できることが求められます。本コンテストは、800語程度の英語エッセイで競うことにより「書く」英語力の向上をめざします。



経営学部「国際交流・国際教育プログラム」診断

グローバル経営人材を目指す、
あなたにぴったりのプログラムを見つけましょう!

経営学部には多様な国際化教育プログラムが設置されています。語学力向上や海外留学に興味がある、将来、国際ビジネスで活躍したい、など一人ひとりのレベル・ニーズにあったプログラムを診断できます。診断は右のQRコードから簡単にできます!

(経営学部ホームページ) <https://www.meiji.ac.jp/keiei/features/index.html>





フィールドスタディ

講義だけじゃない! 「現場を体感」し、「現場で学ぶ」体験型授業

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク（現地調査）を通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。

まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深めたうえで、「事前学習」で調査対象について学生自らが調べ、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成します。調査対象は、ローカルからグローバルまで、企業、自治体、NPO法人、特定地域の住民など、科目により様々です。

本科目を履修し修了すると2単位が付与されます。

2024年度フィールドスタディテーマ(予定)

履修開始年次	科目名	開講	テーマ	主な実習先(予定)
1年~	フィールドスタディ【A】	春	地域企業・産業調査	北海道・北見市
			人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ: 岡山市拳選町の事例から	岡山県・岡山市
	フィールドスタディ【B】	秋	地域企業・産業調査	滋賀県・京都市
			自らなりわいを創る 地域の潜在力を生かしたまちづくり:尾道市を中心に 地域の伝統文化をいかした「まちづくり・ものづくり」を学ぶ 稲盛哲学を学ぶ	長野県・上田市または大分県・別府市 広島県・尾道市 愛知県・名古屋 京都府・京都市
2年~	フィールドスタディ【C】	春	日中企業の経営管理の比較	長野県・飯田市
			京都企業の歴史と現在	京都府・京都市
			中堅企業の海外戦略	日本国内
			地方都市の現場 ものづくり現場の観察	大分県別府市・佐伯市 日本国内
	フィールドスタディ【D】	秋	地域企業・産業調査	新潟市・長岡市
			米国企業調査	アメリカ・ポートランド他
			コンテナのグローバル化に関する実態調査	フランス・パリ
			日中企業の経営管理の比較	日本国内
フィールドスタディ【D】	秋	地域企業・産業調査	大阪府・東大阪市	
		大規模自然災害と地域のレジリエンス	福島県いわき市	
		製造業現場のフィールドワーク	日本国内	
		EU企業の経営の多様性	欧州連合加盟国	
			新興国製造業調査	ベトナム・ホーチミン
			マレーシアにおける日本企業のマーケティング戦略	マレーシア・クアラルンプール他

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、実習内容を変更する場合があります。 ※テーマ・実習先は年度により異なります。

フィールドスタディ(実績)



「人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ」
実習先: 岡山県/岡山市
※現地での聞きこみの様子



「スイスとドイツにおけるブロックチェーン技術の活用に関する現地調査」

実習先: 欧州諸国

※写真は2023年度実施の様子

グローバル・サービスラーニング (Global Service Learning)

海外で社会貢献活動を体験しよう! ボランティア体験から生きた知識を学ぶ

グローバル・サービスラーニング(GSL)は、経営学部独自の海外サービスラーニング科目です。サービスラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス)活動を通じて課題解決のための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣の中でボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。

本科目は年2講座開講しており、GSLA(春学期開講)は夏休み期間中に、GSLB(秋学期開講)は春休み期間中に、海外において約2週間の実習を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与されます。

※実習先は年度により異なります。



「グローバル・サービスラーニングB」

実習先: フィリピン(セブ島) ※写真は2024年2月実施の様子

経営総合講義 A・B

実践的な課題で未来を掴む

経営総合講義 A・B は、PBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。授業では、実際のビジネスの現場で直面するような問題が課題として取り扱われます。受講生はチームに分かれて、課題解決の方策を考え、調べ、検討し、その結果をまとめ、プレゼンテーションします。ビジネス・シーンをリアルに体験できる授業です。

春学期開講の「経営総合講義 A」では、企業の第一線で活躍するビジネスパーソンをお招きし、その業界が直面する課題に取り組みます。秋学期開講の「経営総合講義 B」では、経営学の理論を使ったより発展的な課題解決型のグループワークを行います。



■ 協力企業と課題 (2023年度・経営総合講義 A・B)

企業	テーマ
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	・どうやったら、海外のお客さまに入会していただけるか？ ・さらに、いかにアクティブ会員を増やしロイヤルカスタマーまで醸成するか？ ・もちろん、国内会員の入会もどう増やしていくか？ ・そして、いかにシンプルで誰もがわかりやすい内容でうちだすか？
東急ホテルズ&リゾーツ株式会社	STREAM HOTEL ブランド (札幌・渋谷) の認知拡大施策を考える
三井住友海上火災保険株式会社	ニューリスクマーケットへの新たな取り組みを考案せよ
株式会社中村屋	コンビニのカウンター (レジ横) で新商品を発売するにあたり、商品コンセプトと、その商品を作る什器 (機械) のコンセプト、その商品を作り出す為の 4P 戦略について
JA 全中	どうしたら、より多くの方々に、こうした食に関する世界や日本の状況に関心を持ってもらうことができるでしょうか。イベントを行う等の施策を中心に考えてみてください。
RDC (がってん寿司)	窮地を救え! 新卒採用サイトの新提案
イトアンド (大阪王将)	実際の店舗で、「メニューを開発」食シーンに価値を生み出そう!

■ 講義の流れ (以下のフローを2回)



キャリア形成入門 [1・2年次開講科目]

自分なりのキャリアビジョンを描こう

本講義は、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。授業は各分野の経験豊かな講師陣によってオムニバス形式で展開され、ビジネスマナーの実習や、なりたい自分像を「明確化」「視覚化」「実現を促進」するための「ビジョン・ロードマップ」の作成など、一部実習形式も含んでいます。



特別講義

時代の要請に応じたテーマを学び考えよう

社会現場が直面する課題や情勢について多彩な授業形態による特別講義を開講することにより、独自の特色のある教育を展開しています。

授業回ごとに異なるゲスト講師を招く授業では、企業の経営者など普段関わることのできない社会の第一線で活躍する方々の生の声が聞け、最新の事例について学ぶことができます。また、英語により学ぶことができる授業やプロジェクト型学習の授業も開講しています。



「経営学特別講義 A 学生のための社長学」講義風景 ※写真は2021年度実施例

スタートアップ起業家育成講座 (M-SET)

「起業」という新しいキャリアの選択肢

今日、様々な社会課題の解決に向けたイノベーション創出を目指した、新しい価値創造を生み出す次世代アントレプレナー人材の育成が求められています。経営学部では、スタートアップ、起業、「第二の起業」としての事業継承を目指す学生に向けて、様々な講義を取り揃えています。特に、「基礎専門特別講義: 起業のメカニズム」、「経営学特別講義: スタートアップ経営のメカニズム」は、現役の起業家、投資家、アクセラレーター等の方々をゲスト講師に迎えてオムニバス形式で展開する実践的な講義です。

さらに、明治大学では、起業に向けた各種支援プログラムも用意されています。その中でも学内ビジネスコンテストである「明治ビジネスチャレンジ」プログラムは、最先端の科学技術、最新の人文知、起業に関する実践知を組み合わせ、新しい価値創造に向けたビジネスモデルを創り、投資家などの審査員にプレゼンテーションする総合的な学びの場かつ実際の起業に向けたファーストステップとして開催されています。講義と各種プログラムを通じて学術知と実践知を「コンバージェンス(融合)」して学習を進めることができます。



1

グローバル社会に通用する力を身に付けよう

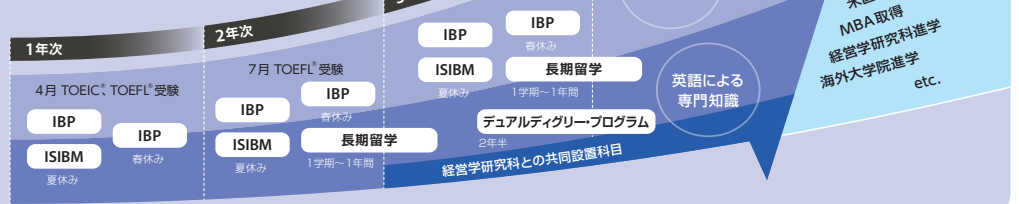


GREAT (Global Resources English Applied Track)

英語スキルと専門知識の融合

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネスでの活躍をめざす学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養や専門知識を学びます。3年次からは経営学研究科との共同設置科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。また、海外留学などを支援することを目的とした「GREAT 奨学金」の制度も設けています。

- ※1 TOEIC®や英語4技能資格・検定試験のスコアを参考に選出された約100名が対象となります。所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。
- ※2 図中のIBP、ISIBM、長期留学は応募可能な海外留学の時期を示します。なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。



2

闘える「会計力」を身に付けよう

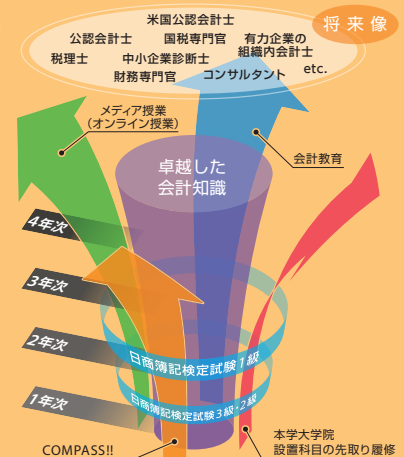


CAP (Course of Accounting Profession)

豊富なサポート体制で会計のプロを目指す

高度職業会計人養成トラック「CAP」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士、国税専門官などの資格試験合格を目指す学生のためのトラックです。会計の専門性を武器に、高度職業会計人として社会で活躍したい学生であれば誰でも参加できます。

CAP生専用のクラスがあり、「簿記論I・II(CAP上級クラス・初級クラス)」と「原価計算論I・II(CAPクラス)」を1年次から履修できます。CAPでは、メディア授業(オンライン授業)を積極的に導入しており、時間割に縛られず、個人のペースで学習できる時間を増やし、各種資格の早期取得を後押ししています。また、入学後すぐに専門的な勉強を始めた学生向けに「会計学特別講義」と「会計プロセミナー」や、会計学科の専任教員が学生の目標達成をきめ細かくサポートする「COMPASS!!」もあります。さらに、本学の大学院授業を先取り履修することもでき、学部レベルを超えた会計の知識とスキルを在学中に学べます。



3

デジタルイノベーションのための「データ分析力」を身に付けよう



デジタル経営人材開発トラック DIGIT



インターネット・IoT・AI等の技術改革によって、社会・経済のデジタル化が進展しています。「デジタル経営人材開発トラック：DIGIT (Digital Insights for Growth and Innovation Track)」は、データサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してビジネスデータ・ソーシャルデータの分析からインサイトを探検し、新たな社会の在り方やプロセス改革・新製品サービス開発・事業創造等のイノベーションを創造できる「デジタル経営人材」を育成する教育プログラムです。



資格取得

検定料助成制度があります。

TOEIC® IP テスト

TOEFL iBT® テスト*

TOEFL ITP® テスト

IELTS™*

* TOEFL iBT® テスト、IELTS™ の2検定中1人1検定のみ助成申請可能です。

各種外国語検定試験

ドイツ語(ゲーテ・ドイツ語検定) / フランス語(実用フランス語技能検定) / 中国語(中国語検定) / ロシア語(ロシア語能力検定) / 韓国語(ハンゲル能力検定)

日商簿記検定試験

外国語検定試験による単位認定

外国語検定試験による単位認定制度を導入しています。右の表に示す各検定試験の最終到達スコアに応じて、最大4単位まで「認定科目(外国語科目)」として認定され、卒業要件単位に算入されます。

* IELTSを利用した単位認定は、認定単位数が1単位、2単位、4単位の場合に限ります。
* スコアの証明書類は申請時から遡って2年以内に受験したものに限りです。

認定単位数	各検定試験の取得スコア			
	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS™
1	680 - 725	490 - 509	57 - 63	4.5
2	730 - 775	510 - 519	64 - 67	5.0
3	780 - 825	520 - 529	68 - 70	—
4	830 -	530 -	71 -	5.5 -

『蒼樹』発行

自分の手で論文を書いてみよう!

論文やレポートの作成には論理的思考力が必要です。1・2年次に開講している「レポート・論文作成法」は、講義を通して明快な論理によって構成された文章を書く訓練ができます。4年次に提出する卒業論文制作への基礎づくりに役立つだけでなく、社会に出てからも応用可能な知の技術となります。履修学生が提出した課題論文の中で特に優れたものを集めて発行される「蒼樹」は、4月初めに1年生全員に配布され、「レポート・論文作成法」の授業でも使用されます。



『学生経営論集』発行

自分の書いた論文が、未来に残る冊子となり、未来の自分の糧となる

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。多くの学生が、個人単位、ゼミ等のグループ単位で応募し競い合っています。毎年100本以上の登録があり、入賞作品は「学生経営論集」として出版されます。



早期卒業制度

大学院進学希望者や国家試験受験者・合格者を主な対象として、優秀な成績を取れば在学3年間で大学卒業、学士学位の取得ができる早期卒業制度を導入しています。

大学院授業履修の勧め

3年次以上の学生は、所定の条件を満たしていれば、大学院経営学研究科・専門職大学院ガバナンス研究科/会計専門職研究科の科目を10~16単位を上限として履修することができます。少人数で深い学習ができるとともに、大学院進学の際には、その単位を修了要件に含めることができます。3年早期卒業制度とあわせることで、学士学位と修士学位の双方の取得が5年で可能となります。

また、大学院経営学研究科において英語で行われる授業は、大学院経営学研究科と経営学部の共同設置科目となっており、経営学部の科目として履修し修得した単位は、経営学部の卒業要件単位に算入されます。

